

大牟田市立三池小学校

1 本校のESDの特徴

本校は、「郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を持ち、たくましく生きぬく子どもを育成する」を学校理念として、ESDを地域と「関わり」「つながる」教育と捉え、ESDの実践を通して、自分の考えを伝え、相手を説得できる（認め合う）力、自ら未来をつくる意思のもと実践する力の育成を目標とした。

具体的には、体験活動の重視、表現活動の工夫、振り返り活動の重視を柱に、①郷土に係わる活動、②環境に係わる教育、③福祉に係わる学習を行った。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<各学年の「地域体験学習」の活動内容>

1年

学校周辺にある文化財を見学したり、三池小学校の歴史についての話を聞いたりして、三池小学校の歴史に興味関心をもつ。

（見学地） 郷土館跡、一の井戸、二の井戸、三の井戸、藩校修道館・武道場跡 陣屋正門跡

2年

学校周辺にある文化財を見学したり、三池の歴史についての話を聞いたりして、ふるさと三池に興味関心をもつ。

（見学地） 船津和算塾跡、天梁小学校跡、藩境跡、寿光寺、藩校修道館跡、立花兄弟生家跡

3年

三池に残る民話や伝説について現地で話を聞き、紙芝居に等にまとめ、「ふるさと三池のよさ」を学習発表会で保護者や地域の方に広める。

（見学地） 劫月院、金井寺、大間神社、劫月院跡、内田別当家跡

4年

大牟田カルタを使った遊びを通して三池校区にある史跡に興味を持つ。その中から実際に見学し説明を聞いたり、調べたりしてまとめ、自分たちの三池カルタを作って遊んだり、発表したりする。

（見学地） 彌劔神社、安照寺、内田別当家跡、船津和算塾跡、藩校修道館跡、高田行宮跡

5年

大蛇山の起源について話を聞き、実際に見学することで、大蛇山の歴史を正しく理解する。分かったことをまとめ発信することで、古くから受け継がれてきたことをこれからも守っていこうとする。

（見学地） 三池新町彌劔神社

6年

三池藩や三池地区の歴史を学び、今も残る昔の人々の生活の跡を見学することで「ふるさと三池」を再発見し、調べたことや地域の方々への提言を新聞やリーフレットにまとめて、学んだことを保護者や地域の方に広める。

（見学地） 藩校修学館跡、三池藩・柳川藩境、堀割跡 など

3 特徴的な活動事例

<4年生 単元名「一枚のカルタから不思議発見～ふるさと三池をカルタで発信しよう～」>

(1) 目標

○三池校区にある史跡についてG Tの方から話を聞いたり、実際に見学したりする活動を通して「ふるさと三池」のよさを発見し、地域を愛する心情を育てる。



(2) 実践の展開

- ①大牟田郷土カルタを使って遊び、カルタについて興味を持つ。
- ②カルタの題材になった三池に残る史跡を実際に見学する。〈三池の歴史を学ぶ会の方によるボランティアガイド〉
- ③自分たちが興味を持った題材を深く調べて、まとめる。
- ④調べたことをもとに「三池カルタ」をつくる。
- ⑤作成した「三池カルタ」を保護者や地域の方へ紹介したり、作成したカルタで遊んだりする。



【郷土カルタで遊ぶ】



【実際に見学し、G Tの方の説明を聞く】



【自分たちで作った三池カルタを紹介】



【作ったカルタでカルタ取り】

(3) 子供たちの感想

- ・45枚の郷土カルタのうち、ふるさと三池を取り上げた札が9枚もあることに驚いた。
- ・自分たちで作った「三池カルタ」で遊んでとても楽しかった。
- ・三池の史跡を案内してもらい、その場所の歴史やそこで行われる行事について知ることができた。
- ・大牟田とカルタの関わりを教えていただいて、大牟田や三池ってすごいと思った。

(4) 発表を聞いた保護者や「三池の歴史を学ぶ会」の方の感想

- ・子どもの興味や考えが広がっていて驚いた。
- ・子ども達が感想で、「三池のことが好きになった」と言っていたのを聞いてうれしかった。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・子供たちは、自分たちのすぐ身近にあるものでも、知らないことがたくさんあるということに改めて気づき驚いていた。この学習を通して、ふるさと三池に対する思いを強くすることができた。この思いを次の学年へつないでいきたい。

○課題

- ・1年生から6年生までの6年間で、見学したり、調べたりする史跡に漏れや重複がないように、学習の系統性と併せて、見学する場所の選定を、G Tの方と吟味する必要がある。